

ろうきん・あとっぽプロジェクト 活動報告書

グループ名 チーム南工「地域に恩返しプロジェクト隊」

今回の寄附金を使ってどのような活動を行いましたか？活動風景を写した写真も添付してください。
(※活動報告書の提出は Word 形式でお願いします。)

【機械科】

本校は、学校行事や PTA 活動等、日頃から富盛地区にはお世話になっている。そこで地域への恩返しという意味を含め、機械科実習の成果物である「ベンチ」と「ごみ箱」を、富盛公民館へ贈呈しようということとなった。6月に公民館への挨拶と事前調査、12月上旬に完成の報告、12月19日贈呈式の運びとなった。贈呈式当日、公民館区長の呼びかけにより、老人会、女性会、こども会等のそれぞれの会長が式に参加して頂き、本校機械科3年生代表生徒 7 名へ質問や感謝の意を述べられていた。式は30分ほどで終了したが、生徒たちも誇らしげな表情であったため、このプロジェクトは生徒自身への成長に大きくつながった。支援して頂きありがとうございました。(機械科主任:田本智幸)



<贈呈式> 生徒代表と富盛公民館区長(左)



記念撮影 生徒代表 7 名と富盛地区役員

【電気科】

昨年度に引き続き、本校では 11 月に新城小学校 5 年生を迎え、地域貢献体験交流会を実施いたしました。電気科では、プログラミング体験としてフルカラーLED を用いた光と音を制御する課題に取り組んでもらい、児童の皆さんは楽しみながら意欲的に学んでいる様子が見られました。

その後は、高校生が製作したミニ相撲ロボットの操作やドローンの操縦を体験してもらいました。さらに、高圧実験装置の見学では、迫力ある放電音と光に驚きながらも、目を輝かせて観察する児童の姿が印象的でした。交流会の最後に、名前入りのオリジナルキーホルダーをプレゼントすると、大変喜んでもらい、本校生徒も達成感を感じたようです。今回の交流会が円滑に実施できたのは、温かいご支援のおかげです。改めて心より感謝申し上げます。(電気科主任:久米 智)



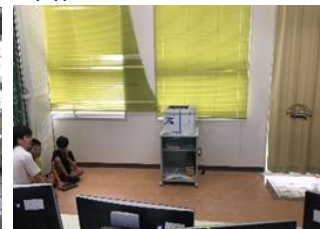
ミニ相撲ロボット



プログラミング体験



高圧実験装置の見学



ドローン操縦体験

【建築設備科】

近隣地域の小学5年生を招いた交流学習会を2回に渡って開催しました。延べ 60 名余りの小学生がプッシュアップバー製作とコースター製作を体験し、高校生との交流を深めました。

今回体験した小学校は本校とすぐ近くに位置していますが、本校への来校は初めての児童も多く、とても新鮮な体験だったとの感想が聞かれました。

後日、開催された工業祭(南工フェスタ)には、交流学習に参加した児童とその家族が来場することにつながりました。



塩ビパイプを用いたプッシュアップバー製作体験



木工体験(コースター製作)



た。今回の交流学習会を通して、工業高校の魅力を伝える機会を支援して頂き感謝しております。

(建築設備科主任:仲里裕樹)

【成果・課題】

《成果》

- ①近隣小学校に対して、工業高校の楽しさや魅力を伝える事ができた。
- ②生徒達が主体的な地域貢献を通して、その意義や喜びを実感する事ができた。

《課題》

- ①学校全体で更なる地域貢献の広がりを推進する。
- ②地域企業や関係機関と連携した地域貢献の積極的な取り組みを推進する。

【謝辞】

文部科学省は、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」を推進しています。そのため、生徒達が学んだ知識や技術を活かし「地域に恩返し」という今回のプロジェクトは、地域と一体となって生徒達を育むことにつながったと考えています。これもひとえに、新城小学校の教職員の皆様や富盛地区の皆様などのご理解・ご協力があったからこそだと感謝しております。

また、今回の「地域に恩返し」プロジェクトにおいて、ろうきん様には、助成金によるご支援を賜り、生徒達の主体性や協調性の育成など、充実した教育活動の取り組みにつながった事に、心より感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動に対し、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(教頭:與那嶺義一)

今回の活動報告をろうきんHPやろうきん便り等刊行物で紹介してもいいですか？チェックをお願いします。

☒はい ☐いいえ